

研究協力をお願い

昭和大学歯学部では、下記の研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名

特別養護老人ホームにおける摂食嚥下指導の実態調査

1. 研究の対象および研究対象期間

対象：社会福祉法人池上長寿園特別養護老人ホーム蒲田に入所され、摂食嚥下指導を受けられた方
調査対象期間：2009年4月から2020年3月まで

2. 研究目的・方法

<研究目的>

特別養護老人ホームの入所者は、多くの病気を重複して有しており、その結果として摂食嚥下障害（食べる機能の障害）を有する場合があります。食べる機能の障害は、要介護高齢者の低栄養を引き起こすことが知られています。

昭和大学歯学部では大田区蒲田歯科医師会および特別養護老人ホーム蒲田と協働して、多職種連携による施設入所者に対する摂食嚥下指導を実施しています。

本研究の目的は、特別養護老人ホーム入居者に対して実施された摂食嚥下指導の実態を調査することにより、施設入所者のQOLの向上や介護関連職種の食事介助に対する負担軽減につながる指導方法を確立することにあります。

<研究方法>

特別養護老人ホーム蒲田の入所者に対して実施された摂食嚥下指導の結果および診療録に記載されている事項を分析します。

研究期間

「昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、研究機関の長の研究実施許可を得てから2023年3月までとなります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に使用する情報は以下の通りです。

①対象者背景

・年齢、性別、体重、全身疾患、要介護度、内服薬

②摂食嚥下障害（食べる機能の障害）に関連する内容

- ・ 食事時の姿勢、食事介助の状況、栄養方法、使用している食具、食事内容、食事時のムセの有無、飲み込みの状況、指導内容

③お口の中の状況

- ・ 衛生状態、義歯（入れ歯）の有無および使用状況

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて利用者さんもしくは使用者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも利用者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門

氏名：石川 健太郎（研究責任者）

住所：〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8172